

P D会議及びその分科会の設置について

令和5年4月20日
ガバニングボード**1. 目的**

「戦略的イノベーション創造プログラム運用指針」（ガバニングボード 令和4年12月23日最終改正）に基づき、P D間でのベストプラクティスの共有や課題間での連携を促進するため、ガバニングボードの下に、全てのP Dで構成するP D会議を設置する。

P D会議の事務はプログラム統括チームがつかさどり、プログラム統括チームは一方向的に評価を行うのではなく、P D会議を通じて、P Dからの意見を聴きつつ、①各課題の進捗状況を把握し、ベストプラクティスを共有するなど必要なサポートを行う、②課題間での連携や課題間で共通する事項について検討する、③制度設計をフォローアップし必要に応じてアップデートを検討する、などS I Pの効果的かつ効率的な課題運営に向けて必要な検討を実施する。

また、P D会議のもとに、課題間の検討事項として、社会実装に向けた戦略及びデータ連携に係る具体的な内容を議論するため、「社会実装に向けた戦略に係るワーキンググループ」及び「データ連携に係るワーキンググループ」の2つの分科会を設置する。

2. P D会議**(1) 検討事項**

- ①各課題の進捗状況の把握・ベストプラクティスの共有その他の必要なサポート
- ②課題間での連携や課題間で共通する事項（分科会で取り上げる社会実装に向けた戦略・データ連携のほかインフラの活用などを想定）
- ③制度設計のフォローアップ・アップデート
- ④その他のS I Pの効果的かつ効率的な課題運営に向けて必要な検討

(2) メンバー

- ①S I P第3期のP D ※必要に応じてサブP D等の代理参加可能
- ②プログラム統括チーム ※チーム長が座長。チーム長代理が代理することが可能。
- ③ガバニングボード座長その他のガバニングボードメンバーの参加可能
- ④必要に応じて各検討事項に係る関係者の参加を求めることも可能

(3) 実施頻度（予定）

年3回程度（4月、9月、3月）

3. 社会実装に向けた戦略に係るワーキンググループ

(1) 検討事項

- ① 5つの視点での戦略、指標の活用に係る状況確認とフォローアップ
- ② 社会実装に向けたインセンティブ制度設計（マッチングファンド方式を含む）に係る協議、PD会議やGBへの制度提案
- ③ その他、社会実装に向けた戦略に係る課題全般の協議

(2) メンバー

- ① サブPDその他の各課題の代表者
- ② 関連するプログラム統括チームの委員
- ③ 関連する有識者 ※数名程度
- ④ 必要に応じてその他の関係者の参加を求めることも可能

(3) 実施頻度（予定）

年3回程度（6月、9月、12月）

4. データ連携に係るワーキンググループ

(1) 検討事項

- ① データ連携の基本方針
- ② 国内外動向共有
- ③ 各課題の取組共有
- ④ 分野間データ連携の個別案件の調整
- ⑤ 分野間データ連携基盤への要求事項検討

(2) 主なメンバー

- ① サブPDその他の各課題の代表者
- ② 関連するプログラム統括チームの委員
- ③ 必要に応じてその他の関係者の参加を求めることも可能

(3) 実施頻度（予定）

年2回程度の定例会に加え、個別の分野間データ連携案件に応じて協議を実施

PD会議 構成員名簿

○ 戦略的イノベーション創造プログラム第3期（S I P第3期）プログラムディレクター（P D）

課 題	P D
1 豊かな食が提供される持続可能なフードチェーンの構築	松本 英三
2 統合型ヘルスケアシステムの構築	永井 良三
3 包摂的コミュニティプラットフォームの構築	久野 譜也
4 ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築	西村 訓弘
5 海洋安全保障プラットフォームの構築	石井 正一
6 スマートエネルギーマネジメントシステムの構築	浅野 浩志
7 サーキュラーエコノミーシステムの構築	伊藤 耕三
8 スマート防災ネットワークの構築	楠 浩一
9 スマートインフラマネジメントシステムの構築	久田 真
10 スマートモビリティプラットフォームの構築	石田 東生
11 人協調型ロボティクスの拡大に向けた基盤技術・ルールの整備	山海 嘉之
12 バーチャルエコノミー拡大に向けた基盤技術・ルールの整備	持丸 正明
13 先進的量子技術基盤の社会課題への応用促進	寒川 哲臣
14 マテリアル事業化イノベーション・育成エコシステムの構築	木場 祥介

(敬称略、課題順)

○ プログラム統括チーム構成員・アドバイザー名簿

(敬称略、五十音順)

(構成員) ◎ : チーム長、○ : チーム長代理

- 五十嵐 仁一 (一社) 産業競争力懇談会 実行委員長
エネオス総研(株) 顧問
- 川上 登福 (株) 経営共創基盤 共同経営者マネージングディレクター
- 栗野 盛光 慶應義塾大学 経済学部 教授
- 島田 啓一郎 ソニーグループ(株) 社友
- ◎ 須藤 亮 内閣府 政策参与・プログラム統括
- 南部 智一 住友商事(株) 代表取締役 社長付 CDO アドバイザー
- 林 いづみ 弁護士
- 細田 孝宏 ジャーナリスト
- 眞野 浩 (一社) データ社会推進協議会 専務理事/事務局長
- 吉本 陽子 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株) 主席研究員

(アドバイザー)

- 小川 尚子 (一社) 日本経済団体連合会 産業技術本部 本部長
- 岸本 喜久雄 (国研) 新エネルギー・産業技術総合開発機構
技術戦略研究センター センター長
- 倉持 隆雄 (国研) 科学技術振興機構 研究開発戦略センター 副センター長

PD会議の進め方について（予定）

第1回（キックオフ） 4月21日（金）15：00～17：00

- （1）趣旨説明、自己紹介
- （2）動画放映 PDの業務について
 - SIP 第2期（スマートバイオ産業・農業基盤技術）小林憲明 PD-利益相反マネジメント体制の試行について
- （3）事務局からの依頼事項
- （4）今後のスケジュール
- （5）その他
- （6）議題を定めないPD 同士の意見交換

第2回（事例共有、フォローアップ） 9月頃（2時間程度）

戦略及び計画の具体化（XRLの活用を含む）の各課題からの紹介、データ連携の進捗、課題運営における工夫や問題点の共有

第3回（成果共有） 3月頃（2時間程度）

1年間の課題運営の振り返り、制度設計のフォローアップ、改善点の抽出